

























秋冬野菜の生育状況と10月の価格見通しについて（10月4日現在）
（東京都中央卸売市場に係る主産県及び卸売会社からの聞き取りによる）

（総論）

品 目	現 在 の 生 育 状 況 等
根 菜 類	だいこんは、台風12号及び最近の低温により 10月前半の出荷数量が減少 。
葉 茎 菜 類	はくさい及びレタスは、8月下旬の長雨、台風12号及び最近の低温により 10月前半の出荷数量が減少 。
果 菜 類	きゅうり及びなす等は、8月下旬の長雨、台風12号等及び最近の低温により 10月前半の出荷数量が減少 。
土 物 類	たまねぎについては、生育期における天候不順、台風12号等により 収量は低下 する見込みであるが、ばれいしょ等の生育は概ね順調であり平年並の出荷を見込む。

品 目	主 産 県 ※（ ）書きは 昨年10月の 入荷シェア。	現 在 の 生 育 状 況 等	価 格 見 通 し	
			10月前半	10月後半
だ い こ ん	北海道(44%) 青 森(33%)	北海道において、台風12号による病害虫の発生に加え、最近の低温により出荷数量は減少するため、 <u>前半の価格は平年を上回る見込み</u> 。 後半は、青森県及び後続産地の関東産の生育が順調であり、出荷数量は平年並まで回復することから、 <u>価格は平年並になる見込み</u> 。		
に ん じ ん	北海道(88%)	台風12号・15号による病害虫の発生に加え、最近の低温により収量が低下する可能性はあるが、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み</u> 。		

はくさい	長野(79%) 茨城(9%)	長野県において、8月下旬の長雨及び台風12号による病害虫の発生、最近の低温により生育が遅れて出荷数量は減少するため、 <u>前半の価格は平年を上回る見込み</u> 。 後半は、気温が回復することに伴い出荷数量が増加することから、 <u>価格は平年並になる見込み</u> 。		
キャベツ	群馬(68%) 岩手(9%)	<u>前半の価格は概ね平年並になる見込み</u> 。 後半は、群馬県等において、8月下旬の長雨や台風12号の影響により出荷終了時期が早まる可能性があるため、 <u>価格は平年を上回る見込み</u> 。		
ほうれんそう	群馬(41%) 栃木(15%)	最近の低温により生育が遅れて一時的に価格は上昇する可能性もあるが、 <u>出荷数量、価格ともに概ね平年並になる見込み</u> 。		
ねぎ	青森(29%) 秋田(14%)	青森県等において、降雨や稲の収穫作業で遅れていた出荷が始まって一時的に出荷数量が増加していることから、 <u>前半の価格は平年並になる見込み</u> 。 後半は、台風12号・15号に伴う倒伏等による被害により出荷数量は減少するため、 <u>価格は平年を上回る見込み</u> 。		
レタス	茨城(62%) 長野(27%)	長野県において、最近の低温により生育が遅れて、 <u>前半の価格は平年を上回る見込み</u> 。 後半は、後続産地の茨城県の生育が順調であり出荷が本格化することから、 <u>価格は平年並になる見込み</u> 。		

きゅうり	埼玉(33%) 群馬(21%)	埼玉県等において、8月下旬の長雨及び台風12号・15号による病害虫の発生や茎葉の損傷、最近の低温により生育が遅れて出荷数量は減少するため、 <u>前半の価格は平年を上回る見込み</u> 。 後半は、施設栽培ものの出荷が始まるため、 <u>価格は平年並になる見込み</u> 。		
なす	高知(27%) 群馬(15%)	群馬県等において、8月下旬の長雨及び台風12号・15号による病害虫の発生や茎葉の損傷、最近の低温により生育が遅れて出荷数量は減少するため、 <u>前半の価格は平年を上回る見込み</u> 。 後半は、後続産地の高知県の生育が順調であり出荷が本格化することから、 <u>価格は平年並になる見込み</u> 。		
トマト	千葉(24%) 茨城(20%)	千葉県等において、9月中旬頃に生育が前進して出荷数量が減少しているため、 <u>前半の価格は平年を上回る見込み</u> 。 後半は、出荷数量の増加が見込まれるため、 <u>後半の価格は平年並になる見込み</u> 。		
ピーマン	茨城(53%) 岩手(13%)	<u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み</u> 。		
ばれいしょ	北海道(100%)	台風12号・15号による病害虫の発生で収量が低下する可能性はあるが、 <u>出荷数量、価格ともに平年並になる見込み</u> 。		

さといも	埼玉(36%) 千葉(22%)	生育は概ね順調。 <u>出荷数量、価格ともに平年並の見込み。</u>	→	→
たまねぎ	北海道(88%)	<p><u>北海道においては、北見管内における6月上旬の降雹被害の影響、上川・空知管内における6月～7月の多雨等により根が傷んで小玉傾向となったことに加え、台風12号の影響もあって、総じて収量は平年の8割程度になる見込み。</u></p> <p>なお、収量が平年の8割程度になるため価格が高値になる可能性もあるが、今後輸入が増加することで<u>10月の価格は平年をやや上回る程度で落ち着く可能性もある。</u></p>	→	→